

布施國中四窮の施行順互の善根は宛行けり其儀
式遍く昔戒日大王の恒河沙の邊りて五天竺の堅
者達を供養被成し一野都と云ふるごとくなり
後ハ家老の其外の士人ども一密に計るるハ今種
々下乱逆の砌ハ一粒の米一匁の金銀ハ為軍
用貯蓄するべきハ所要なり無量無数の神変供布
施ハ國の貴と云ふものなり其儀ハ今もして誤りけ
るハ又或人申すは是ハ別ハはるべきなり
按察使ハ將軍職とハ相續ありながら一代の

儀ハつゞくハ相續きて出世の半必を持ちぬるハ
只善惡ハ過さる業因よりなり初より終りて財
宝と抱えたりとも積善の餘慶と時金被成と云
ふより善惡ハ引馬渡公家訓よ云積金以遺子
孫子孫未必能護積善以遺子孫子孫未必能護
積陰德冥々中以不知成子孫長久之計也莊子ニ曰
為不善乎幽間之中鬼得而誅之明乎人明乎鬼
然而後能獨行也又様の思ふところ善事をい被
成といふなり又初ハ我等存せしむるの深き